

2021年度 菌根研究会ワークショップ 開催案

(共催団体：伊那谷アグリイノベーション推進機構)

開催期日：2022年3月3日（木）～4日（金）

開催場所：信州大学農学部，C棟 第2実験室

1. 内 容：

- ・外生菌根および外生菌根菌の顕微鏡観察法，ならびに関連学術講演

2. 参加者：

- ・募集人数：10～15名
- ・募集対象：原則として，研究会会員および共催団体関係者とします．希望者が多い場合，研究会会員を優先します．

3. 参加費：

- ・無料．ただし，研究会会員および共催団体関係者以外の参加者の場合，実費を徴収します．

4. 主な日程：

3月3日（木）：

AM 9:00	受付開始（信州大学農学部 C 棟第 2 実験室）
AM 9:30	開会挨拶
AM 9:35～10:20	菌根観察法に関する講義
（休憩）	
10:40～12:10	外生菌根の外部形態に関する顕微鏡観察法の習得（実習操作）
（昼休憩）	
13:10～16:10	外生菌根の内部構造に関する顕微鏡観察法の習得（実習操作）
（休憩）	
16:30～17:15	特別講演（演者未定）

3月4日（金）：

9:15～10:00	トリュフの分類と生態に関する講義
（休憩）	
10:20～12:00	トリュフの形態観察法の習得（実習操作）
12:05	閉会挨拶

5. 申し込み：

- ・2022年2月15日（火）までに、菌根研究会事務局，またはワークショップ世話人まで，メールにてお申し込みください。

菌根研究会事務局： office@mycorrhiza.jp

世話人（山田 明義）： akiyosh@shinshu-u.ac.jp

- ・申込時には、「ワークショップ申し込み」のようなタイトルをつけ，参加者の氏名，所属（学生の場合は学年も），連絡先のメールアドレスを必ず明記してください。

6. その他

- ・コロナ感染症の拡大状況によっては，講義および特別講演の部で Zoom によるオンライン参加を併用する予定です。
- ・信州大学農学部への交通アクセスは，高速バス（新宿発，名古屋発，横浜発，大阪発，長野発）または自家用車が便利です。JR 利用の場合は，乗り換え等が多く時間がかかるうえ，最寄の伊那市駅から農学部までの定期バスの便数と時刻がやや限られます。
- ・宿泊には，中央道伊那 IC 近くのホテル，または伊那市街のホテル等をご利用ください。
- ・3月は寒暖の差が大きく，降雪も予想されますので，暖かくしてお越しください。

ワークショップ世話人代表：山田明義（信州大学）